中長期財政見通しの算出根拠(H28までは実績とし、H29からH38までの根拠について記載)

項 目		単位	算出根拠(公共下水道)	算出根拠(農集排)	
整備人口(住民基本台帳)【A】		人	国勢調査の人口推移(1.3~1.7%)から整備人口を見込む。 H30以降(整備完了以降)は2%ずつ減少と見込む。	国勢調査の人口推移(1.3~1.7%)から整備人口を見込む。 農集排の区域の大部分が市街地でないことからH29以降は3%ずつ減少すると見込む。	
水洗化率【B】		%	H29以降は経営努力によって、これまでの状況から0.4%~0.5%ずつ水洗化が進むと見込む。ただし高齢者世帯など水洗化が困難な方が一定数あると見込み、H33の90.9%を上限とする	H29以降は経営努力によって、これまでの状況から1.8%ずつ水洗化が進むと見込む。ただし高齢者世帯など水洗化が困難な方が一定数あると見込み、H34(農集排の工事完了10年後)の88.0%を上限とする	
水洗化人口(住民基本台帳)		人	【A】×【B】であることから H32までは、1.5%ずつ減少すると見込む。 H33以降は、2%ずつ減少すると見込む。	【A】×【B】であることから H33までは、1.25%ずつ減少すると見込む。 H34以降は、3.0%ずつ減少すると見込む。	
歳 入	下水道(農集排)使用料	千円	水洗化人口と同様に H32までは、1.5%ずつ減少すると見込む。 H33以降は、2%ずつ減少すると見込む。	水洗化人口と同様に H33までは、1.25%ずつ減少すると見込む。 H34以降は、3.0%ずつ減少すると見込む。	
	国・県補助金・受益者負担金等	千円	建設改良費から算出した建設費充当額	建設改良費が一定以下のため、分担金のみとした	
	起 債 【C】	建設債	千円	建設改良費から算出した建設費充当額	事業が完了したので、借入予定なし
		資本費平準化債	千円	国等の基準により、借入予定なし	国等の基準による借入上限額
		特別措置分	千円	国等の基準による借入上限額	国等の基準により、借入予定なし
一般会計繰入金	千円	公共下水道・農集排とも、歳出の合計－歳入の合計【最終調整】			
歳 出	維持管理費	千円	H34まで1%ずつ微増すると見込む (管渠維持管理費用・汚泥処理費用) H35以降は固定	H30以降は、1%ずつ微減すると見込む。 (汚泥処理量が微減する)	
	建設費(資本費) 建設改良費	千円	当市の計画による	建設改良費は定額(新規の接続工事のみ)とした	
	公債費 資本費	償還元金【D】	千円	公共下水道・農集排とも、過去に発行した起債、及び計画により発行する起債によって算出した金額	
		償還利子	千円	公共下水道・農集排とも、過去に発行した起債、及び計画により発行する起債によって算出した金額	
起債残高		千円	前年末の起債残高 + 当年度に発行する起債の額【C】 - 当年度に償還した償還元金【D】		